

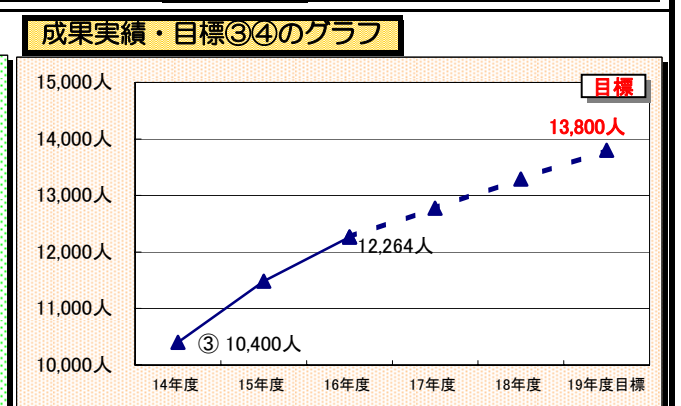
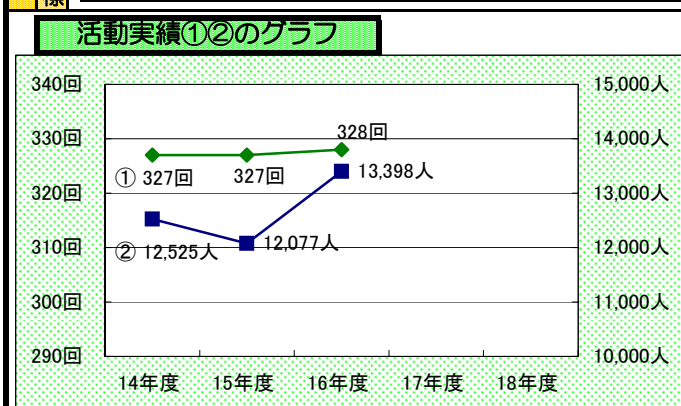
整理番号	1	作成日	平成 17 年 6 月 20 日
事業名	ボランティア講座・講習事業		
所属名	経営企画部 企画課 ボランティアセンター	電話番号	(03) 5662-7671

事業の目的・課題	事業の目的及び概要 ボランティア立区の実現を目指す第一歩として、講座や体験活動等を通し、区民のボランティアに対する関心を高めます。 ボランティア入門講座、車椅子介助等小中学校への出前講習、夏のボランティア体験、また手話・点字・音訳等専門的知識の習得、ボランティアコーディネーターの育成講座等を実施しています。
	事業の開始年度 平成12年度
	現在の課題 ・多様なライフスタイルや考え方を持つ区民の関心を、より多く集められるような実施内容の工夫 ・より多くの受講者や体験者が実際のボランティア活動に繋がるしくみづくり (講座修了後の活動状況調査を、今年度予定しています)

対象	事業の対象者と動向 <input checked="" type="checkbox"/> 区民全体 <input type="checkbox"/> 対象年齢あり () [区人口・各年4月1日現在] <input type="checkbox"/> 対象条件 ()														
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>14年度</th> <th>15年度</th> <th>16年度</th> <th>17年度</th> <th>18年度</th> <th>対象の傾向</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>640,389人</td> <td>646,974人</td> <td>653,743人</td> <td>657,767人</td> <td></td> <td> <table border="1"> <tr> <td>↗</td> <td>増加傾向</td> </tr> </table> </td> </tr> </tbody> </table>	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	対象の傾向	640,389人	646,974人	653,743人	657,767人		<table border="1"> <tr> <td>↗</td> <td>増加傾向</td> </tr> </table>	↗	増加傾向
	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	対象の傾向									
640,389人	646,974人	653,743人	657,767人		<table border="1"> <tr> <td>↗</td> <td>増加傾向</td> </tr> </table>	↗	増加傾向								
↗	増加傾向														
備考：															

活動状況	<table border="1"> <thead> <tr> <th>活動指標名</th> <th>活動指標の説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 講座回数</td> <td>入門講座等各講座と出前講習の実施回数</td> </tr> <tr> <td>② 講座・講習への参加延べ人数</td> <td>入門講座を始め各講座や出前講習等に参加した延べ人数</td> </tr> </tbody> </table>	活動指標名	活動指標の説明	① 講座回数	入門講座等各講座と出前講習の実施回数	② 講座・講習への参加延べ人数	入門講座を始め各講座や出前講習等に参加した延べ人数											
	活動指標名	活動指標の説明																
	① 講座回数	入門講座等各講座と出前講習の実施回数																
② 講座・講習への参加延べ人数	入門講座を始め各講座や出前講習等に参加した延べ人数																	
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>14年度</th> <th>15年度</th> <th>16年度</th> <th>17年度</th> <th>18年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>327回</td> <td>327回</td> <td>328回</td> <td>回</td> <td>回</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>12,525人</td> <td>12,077人</td> <td>13,398人</td> <td>人</td> <td>人</td> </tr> </tbody> </table>		14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	①	327回	327回	328回	回	回	②	12,525人	12,077人	13,398人	人	人
	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度													
①	327回	327回	328回	回	回													
②	12,525人	12,077人	13,398人	人	人													

成果指標・目標	<table border="1"> <thead> <tr> <th>成果・目標指標名</th> <th>成果・目標指標の説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>③ ボランティアセンター登録者数</td> <td>ボランティア活動者として、ボランティアセンターに登録している人数(団体・個人登録総数)</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	成果・目標指標名	成果・目標指標の説明	③ ボランティアセンター登録者数	ボランティア活動者として、ボランティアセンターに登録している人数(団体・個人登録総数)	④																		
	成果・目標指標名	成果・目標指標の説明																						
	③ ボランティアセンター登録者数	ボランティア活動者として、ボランティアセンターに登録している人数(団体・個人登録総数)																						
④																								
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>14年度</th> <th>15年度</th> <th>16年度</th> <th>17年度</th> <th>18年度</th> <th>19年度目標</th> <th>目標値設定の説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>③</td> <td>10,400人</td> <td>11,485人</td> <td>12,264人</td> <td>人</td> <td>人</td> <td>13,800人</td> <td>ボランティアを行う区民が増え、毎年500人程度が新たに登録するよう取組みます。</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度目標	目標値設定の説明	③	10,400人	11,485人	12,264人	人	人	13,800人	ボランティアを行う区民が増え、毎年500人程度が新たに登録するよう取組みます。	④							
	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度目標	目標値設定の説明																	
③	10,400人	11,485人	12,264人	人	人	13,800人	ボランティアを行う区民が増え、毎年500人程度が新たに登録するよう取組みます。																	
④																								



事業名 ボランティア講座・講習事業

実施の根拠となる法令等

民間委託やボランティアなどとの協働の状況

なし あり

委託等の内容（講座の講師や運営面で協力）

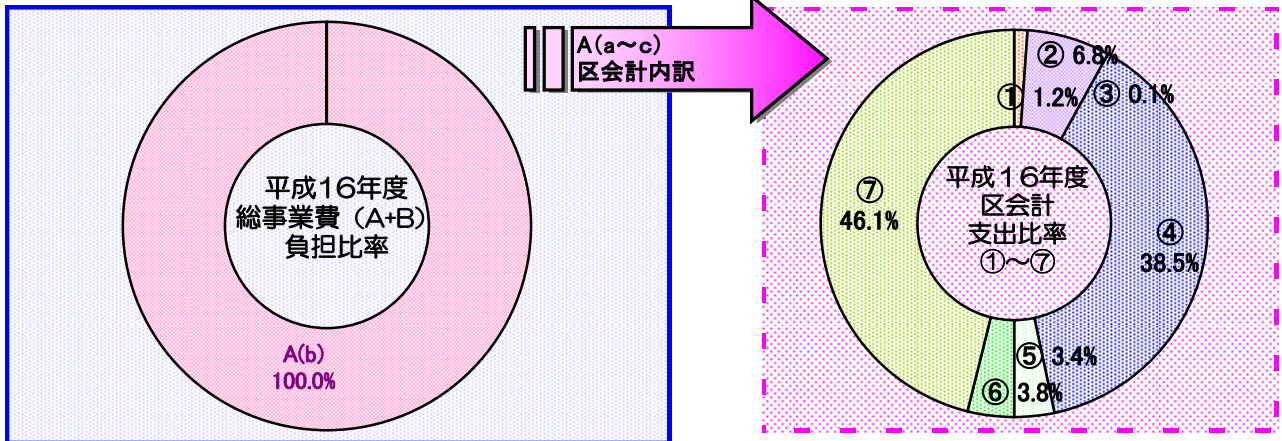
対象事業に関連する他の事業

事業名	事業概要
① ボランティアフェスティバル	年1回、ボランティア団体とその活動を広く区民に紹介するボランティアフェスティバルを実施しています。
② ボランティア相談・情報提供等事業	活動希望者やボランティアを必要とする施設や個人からの相談対応、ホームページ等を活用した情報提供等
③ ボランティア活動支援・助成事業	ボランティア団体活動費助成、ボランティア保険料助成、活動室の提供等

その他背景・他の自治体の状況等

江戸川区社会福祉協議会にボランティア基金を設置しています。概要：江戸川区内を中心に活動実績のあるボランティア団体、NPO法人が、新たにその活動の振興に向けた事業や調査・研究、地域課題の解決などに積極的に取り組めるよう、資金の助成を行ない、「共育」「協働」の地域社会づくりをすすめます。

16年度総事業費（A+B） 7,125千円



A 区の会計内訳 (a~c) 7,125千円

A(a) 国都支出金（歳入）	0千円
A(b) 区負担分	7,125千円
A(c) 受益者負担（歳入）	0千円

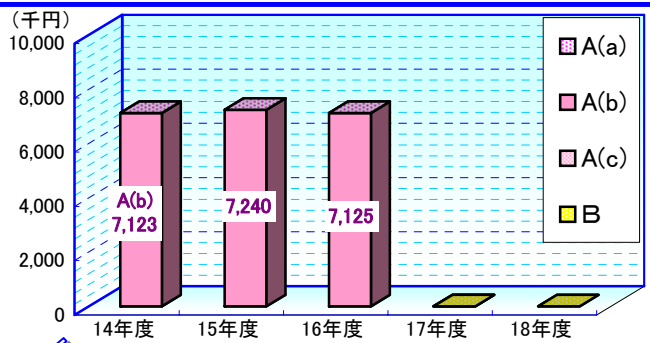
支出内訳 (①~⑦)

① 入門講座謝礼等	89千円	講座30回実施、365人参加、講師謝礼・会場使用料外
② 出前講習謝礼	488千円	講習54回、6,856人参加、指導謝礼
③ 夏のボランティア体験	6千円	7/19~8/31実施、288人参加、説明会会場使用料
④ 手話講習会謝礼等	2,744千円	年間35回×6J-ス（初級・中級・上級・各昼夜）、186人受講
⑤ 点字講習会謝礼	240千円	初級（30人受講）・中級（19人受講）・各10回実施、講師謝礼
⑥ その他講習会謝礼等	271千円	音訳10回・30人受講、コーディネーター2回・8人受講、デジター講習2回12人受講 講師謝礼
⑦ 職員人件費	3,287千円	

B 利用者が事業者等へ直接支払う額

0千円

総事業費の経年変化（14年度～）



ア 常勤職員	0.4人
イ 非常勤職員	
ウ 臨時職員	

16年度の
講座等参加者一人一回あたりの経費 **532円**

経費の説明

講座等の講師謝礼及びこれらの事業運営のための職員人件費です。

経費は全額 区が負担しています

平成17年度 江戸川区「行政評価」内部評価シート

整理番号	1	事業名	ボランティア講座・講習事業
------	---	-----	---------------

所属名	経営企画部 企画課 ボランティアセンター
-----	----------------------

所管課長評価

そう思う ←→ そう思わない

評価項目	評点	5	4	3	2	1	備考
【必要性・代替性】							
1	区が実施すべき事業である。			○			
2	目的を達成するために他の手段がある。	○					
【実績】							
3	目的を果たすために有効な事業である。			○			
4	事業の成果を上げている。		○				
【公平性】							
5	対象者や実施回数、助成額等は適切である。				○		
6	受益者負担を検討する必要がある。		○				
【協働の可能性】 ※既に実施している場合は、拡大・維持・縮小の可能性として評価							
7	ボランティアやNPOの活用が可能である。	○					
8	民間委託の可能性はある。	○					
【効率性】							
9	工夫や改善が必要である。		○				
10	経費を削減できる可能性がある。			○			

所管部長の意見

共育・協働の地域社会づくり、ボランティア立区を目指す本区にとって、重要な事業のひとつ。目的は、ボランティア活動の啓発・普及によって裾野を広げることだから、手法はいろいろと考えられる。行政がひとり担うのではなく、広く他のファクターの活用、特にこの事業へのボランティア活動の活用を考えてもよい。

平成17年度 江戸川区「行政評価」外部評価シート

整理番号	1	事業名	ボランティア講座・講習事業
------	---	-----	---------------

所属名	経営企画部 企画課 ボランティアセンター
-----	----------------------

外部評価委員会評価

そう思う ←-----→ そう思わない

評価項目	評点	5	4	3	2	1	備考
【必要性・代替性】							
1	区が実施すべき事業である。	○					
2	目的を達成するために他の手段がある。				○		
【実績】							
3	目的を果たすために有効な事業である。		○				
4	事業の成果を上げている。		○				
【公平性】							
5	対象者や実施回数、助成額等は適切である。		○				
6	受益者負担を検討する必要がある。					○	
【協働の可能性】 ※既に実施している場合は、拡大・維持・縮小の可能性として評価							
7	ボランティアやNPOの活用が可能である。	○					
8	民間委託の可能性はある。		○				
【効率性】							
9	工夫や改善が必要である。			○			
10	経費を削減できる可能性がある。			○			

外部評価委員会の意見

- ・ボランティアを必要としている人の手助けができるように、日常的にいろいろな機会を通して、ボランティア育成を進めてほしい。
- ・若い区民も意外と何かやりたいと思っている。ボランティア活動の動機づけとなるような事業が必要である。
- ・「夏のボランティア体験」などは、子どもの時からボランティアを身近に感じることができる事業であり、ボランティアの裾野を広げる効果が高い。ボランティア立区をめざす区としては、今後も力をいれてほしい。
- ・ボランティアの育成はボランティアで行う方法もある。しくみづくりなど、ボランティア団体と協力してもいいのではないか。
- ・成果指標が「ボランティアセンター登録者数」となっているが、ボランティアは必ずしも登録者だけによるものではない。今後は、他の指標も検討してみてはどうか。